

# 北九州市民の会ニュース



第 43 回

## 福岡県自治体 フォーラム開かれる

「住民が真ん中・豊かな環境・デジタル化の課題  
～ 多様性あふれる新時代をどう創るか ～

11 月 12 日 (日) 10:00 ~ 16:00 西南学院大学  
で自治体フォーラムが開かれました。今年の基調テーマ  
は、「住民が真ん中・豊かな環境・デジタル化の課題～  
多様性あふれる新時代をどう創るか」でした。

午前中は 4 人のパネラーによるシンポジウム。

石川捷治氏：大分岐～政治学からの問題提起

小原清信氏：マイナンバーとデジタル社会の問題

洗川和也氏：医療 DX について

懸谷 一氏：自治体 DX について

午後は、6 分科会で、熱心に討論しました。

第 1 分科会：憲法と平和・オスプレイ問題

第 2 分科会：地域交通問題

第 3 分科会：食料・農業問題

第 4 分科会：街づくりと福祉問題

第 5 分科会：関東大震災と朝鮮人虐殺問題

第 6 分科会：特別講座（映画を楽しむ）



(第 1 回)

## さよなら原発！ 北九州集会実行委員会開催

11 月 13 日 (月)、上記実行委員会が開催され、来  
年 3 月の北九州集会について討議・決定しました。

- ① 集会日時：2024 年 3 月 10 日 (日) 13 時～
- ② 集会会場：勝山公園 (図書館横)
- ③ 集会名称：さよなら原発！ 3.10 北九州集会
- ④ 実行委員会名：さよなら原発！北九州集会実行委員会

### 「サイレント・フォールアウト」上映会について

日時：2024 年 2 月 11 日 (日) 13:00 ~ 15:30 (上  
映時間 83 分)

#### <映画解説>

ドキュメンタリー映画監督伊藤英朗氏作品。映画  
「放射線を浴びた X 年後」「放射線を浴びた X 年後 II」  
に続く三作目。1950 年代から 60 年代にかけて、ア  
メリカ・ネバダ州で実施された核実験による、アメ



リカ大陸の放射能汚染を追った作品です。福島原発  
事故の放射能は、折からの北西の風に流され、多く  
は太平洋上に落下しました。それでも、日本の大地  
に降り積もった放射能（セシウム換算）は、広島原  
爆の 168 発分に上ると日本国政府は発表しています。  
ものすごい量の放射能が降り注いでいる訳ですが、  
その被害の実態は闇に葬られています。闇に葬られ  
た放射能被害の真実を「サイレント・フォールアウト」  
が明らかにしてくれます。

## 第 2 回、さよなら原発！北九州集会実行 委員会の日程について

12 月 15 日 (金) 19:10 分。金曜行動が終わってから、  
会議をします。

# 市民の会・区民の会が 活発な合同会議

11月15日(水)市民の会・区民の会の合同会議が開かれました。2カ月に一度の市民の会・区民の会の合同会議で、活発な区民の会の取り組みが発表され大変、盛り上がりました。

戸畑区民の会は、この日同時間に「学校給食の無償化をめざす戸畑の会」として宣伝行動に取り組みました。八幡東区民の会、門司区民の会も街づくりの取り組みなどが報告されました。小倉南区も新婦人の皆さんが「学校給食の無償化をめざす会」の署名活動に取り組みました。圧巻は、小倉北区の取り組みです。以下に紹介します。

小倉北区民の会連絡会は、11月9日に代表者会議を開き、今後の取り組みを具体化しました。

- ①市議会各会派へ「学校給食の無償化」を求め陳情訪問をする
  - ②取り組みの賛同と署名の拡大にむけて地域訪問をする。さしあたって「ひなたの街」で実施
  - ③めざす会の宣伝行動や学習会に積極的に参加する。
- 次回(第2回)小倉北区民の会は、11月20日(月)

1月17日(水)市民の会・区民の会合同会議 戸畑生涯学習センター

## ガザ停戦 直ちに緊急行動で訴え 東京・新宿



パレスチナ人の虐殺やめろー。イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区でのジェノサイド(集団殺害)を一刻も早く止めようと、総がかり行動実行委員会

や9条改憲NO!全国市民アクションなどが参加する「パレスチナに平和を!緊急行動」が19日、東京都新宿区で集会とデモを行いました。

参加者らは「だれもころすな」などと書かれたプラカードを掲げ、「虐殺やめろ。国際法を守れ」「ストップ・ストップ・ジェノサイド」と、コールを繰り返しました。

## ガザ虐殺を許さない! 「平和ネット」が19日定例街宣 北九州小倉・折尾



11月19日(日)、全国行動に呼応して、「平和ネット」が小倉・折尾駅で街宣行動をしました。まず「停戦」!憎悪の根源を断つために、戦争をせずに解決していく道筋を!私たちは憲法を掲げて「戦争をさせない」側に立とう!と呼びかけました。

**報告・資料集 2023年10月号**  
10月31日 事務局発行

### 北九社保協通信

3年ぶりの対面実施で加盟団体からも活発な活動報告

#### 北九社保協 第27回定期総会を開催

10月28日(土)に北九社保協第27回定期総会を開催しました。コロナ感染発症から対面での集会等

自粛しこの間、総会は文書決議としてきましたが現在、感染状況が小康状態にあることから3年ぶりに対面での開催となりました。当日は他団体の総会や行事も重なり参加者数が心配されましたが、加盟民主団体のご尽力もあり40名の参加がありました。県社保協からも連帯のメッセージを頂いた1部

の定期総会では「コロナ禍で社保活動が制限される中、社会的弱者に寄り添う活動を中心に取り組んできた総括報告と長引くコロナ禍に物価高騰の今こそ、私たちの英知を結集した旺盛な活動でいのちと暮らしを守る社会保障の充実・発展をめざす方針が掲げられ、満場の拍手で、確認されました。また、加盟団体からは生健会より「生活保護を取り巻く諸課題への対応」、民主商工会から「インボイス制度反対・中止への運動」、健和会は「マイナ保険証問題および現行保険証存続への取り組み」そして新婦人は「学校給食を考える会立ち上げ」など、この間の活動報告が詳細に報告されました。最後に新役員体制についても確認されました。

2部の学習講演では元北九州第一法律事務所の弁護士でのり裁判にも携わっておられ、現在は筑紫女学園大学で教鞭をとる高木佳世子先生をお招きし「生活保護における最近の状況と問題」と題して、「コロナ禍以前の生活困難状況、コロナ禍で貧困率が上昇するも増えない生活保護利用、捕控率や生保バッシングの問題、引き下げられてきた生活保護標準、唯一運動の成果が結実した扶養照会、一方で生保制度下での車所有や高等教育へのハードル、また自治体窓口の課題」など時間の短い時間ではありましたが、多岐に渡る内容をコンパクトにまとめてお話をして頂きました。今はリモートが主流となってそれはそれでは利点もありますが、久しぶりに一同が会して盛会のうちに終えた総会は新鮮でたいへんよかったですと感じました。

  
 団体の長移をする高木会長

  
 学習講演の高木佳世子先生

  
 佐賀北九州協会の八記さん

  
 民主商工会小倉支所の森さん

  
 市民連帯和会の佐藤さん

  
 新婦人小倉南支所の江藤さん

